

環境学委員会環境思想・環境教育分科会
環境教育における体験の再検討小委員会(第25期・第6回)

議 事 要 旨

日 時 令和5年6月5日(月)15:00~17:00

会 場 遠隔会議

参加者(敬称略:50音順):井上真理子、太田 和彦、奇二 正彦、工藤由貴子、
河野 哲也、関 礼子、土方 圭、馬奈木俊介

*委員8名中8名の出席により会議は成立した。

オブザーバー名:北見靖直(国立青少年教育振興機構)、日置光久(環境思想・環境
教育分科会委員)、氷見山幸夫(環境思想・環境教育分科会委員)

議 題

1. 環境学委員会環境思想・環境教育分科会公開シンポジウム

「学術と連携した環境教育の質的確保に向けて」(2023年5月13日)

井上委員より シンポジウムの開催報告があった。また各委員より、第二部「環境
を感受する身体-「体験」の位置づけと課題」に対する感想、今後の課題や展望につ
いて報告があった。

2. 環境教育の思想的アプローチ検討小委員会公開シンポジウム

「ニンゲン学的環境教育の提案:ローカルとグローバルのはざままで」

(2023年7月23日(日)13:00~16:00、学校法人先端教育機構事業構想大
学院大学東京:ハイブリッド開催) 関委員より、開催準備状況について報告された。

3. 検討内容のとりまとめ方法について

シンポジウムを受け、環境教育における体験の意義に関する成果のとりまとめに
ついて、雑誌の特集、書籍の出版、ウェブ媒体の記事などを候補に検討を行った。

4. その他

引き続き、成果のとりまとめについて検討を行うことが確認された。

配布資料 なし

以上